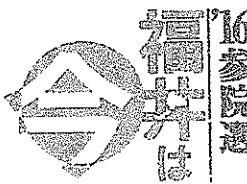


勉学で「借金」800万円

大学生、短大生の2人に1人が利用している奨学生は、将来返済が必要な「貸与型」がほとんどだ。非正規雇用の増加などを背景に、返済が滞ったり、生活苦に陥ったりする人も少なくない。参院選で与野党とも返済義務のない「給付型」創設を打ち出しているが、教育を受ける権利を保証する制度になるだろうか。

(西脇和宏)



16 参院選

奨学生に関する各政黨の政策

【自民】

高校生らへの奨学給付金充実と、給付型奨学生創設の具体的検討。

【民進】

給付型奨学生の創設。利子をなくし、無理なく返済できる制度に。

【公明】

給付型奨学生を創設。低所得世帯は無利子奨学生の学力基準を撤廃。

【共産】

大学授業料の半減。月額3万円の給付制奨学生を70万人規模で創設。

【おおさか維新】

教育の全課程無償化を憲法の原則に定め、恒久立法と予算措置の義務化。

【社民】

大学、大学院の学費無償化。奨学生は無利子を原則。給付型奨学生の創設。

【生活】

給付型奨学生の創設、貸与型奨学生の無利子化、償還減免。

【こころ】

返済不要奨学生の充実など経済格差で不平等が生じない制度の確立。

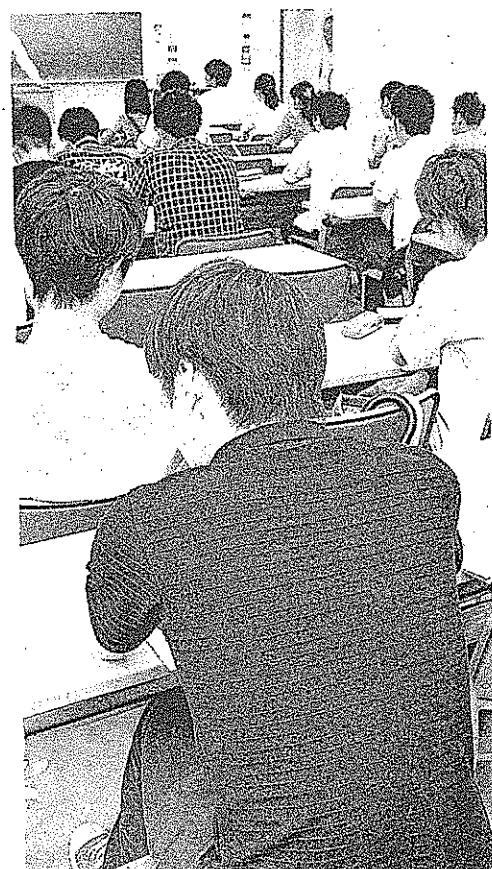
【改革】

有利子の貸与型奨学生の無利子化、給付型奨学生の創設。

仁愛大3年には、月額約8万円の授業料のうち、奨学生で約5万円をまかなっている。残りは週3日、スーパー

就職、結婚…人生設計に影響

奨学生終わらぬ返済苦



授業を受ける学生。全国で2人に1人が奨学生を利用している=福井市内

一でアルバイトして捻出している。「遊びお金はほとんどない。参院選で与野党とも返済義務のない「給付型」創設を打ち出しているが、教育を受ける権利を保証する制度になるだろうか。

</